

平成 25 年度社会貢献活動について（中間報告）

平成 26 年 1 月 14 日
公益社団法人リース事業協会

1. 平成 25 年度下期の実績（中間）

- 当協会は、リース業界の特色を活かした社会貢献活動（※1）として、会員会社から提供を受けたリース終了パソコンを東日本大震災の被災 3 県（岩手県、宮城県、福島県）の公的教育機関に寄贈しています（平成 23 年度から実施）。
- 平成 25 年度下期からは、リース終了パソコン（Windows7 モデル）の寄贈活動を開始し、本日現在で 15 教育機関に対して、リース終了パソコン（Windows 7 モデル）を 28 台寄贈しました（※2）。
- 寄贈先は公益社団法人学校図書館協議会からご紹介いただいた学校図書館と宮城県・福島県の特別支援学校等となっています。

〈寄贈実績・平成 25 年度下期（中間）〉

寄贈先所在地	学校図書館	特別支援学校等	合計	平成 23 年度からの累計実績
岩手県	1 台	0 台	1 台	99 台
宮城県	6 台	10 台	16 台	365 台
福島県	6 台	5 台	11 台	533 台
合計	13 台	15 台	28 台	997 台

〈寄贈先の状況〉

- ◆東日本大震災の際は図書館の書架が倒れる等の被害がありました。現在、学校図書館では古いパソコンを長年使用しているため、ソフトが立ち上がらないことやパソコン作動中に突然フリーズすることがあり、不便な思いをしていました。寄贈パソコンは蔵書管理や貸し出しの処理で活用します。寄贈いただけることを大変喜んでおります。（宮城県・小学校）
- ◆本校の地区では風評被害が続き、放射線測定も引き続き行われております。現在、学校図書館にはパソコンが設置されておらず、今後も設置される見込みはほとんどありません。寄贈パソコンは蔵書台帳管理を目的として活用します。（福島県・中学校）
- ◆東日本大震災以降、学校教育に関する予算措置が厳しい状況下になり、学校パソコンのハード・ソフト面を改善できない状況でした。現在、本校では各教室に児童用のパソコンが配備されていますが、特別教室等にはないため有効に活用します。この状況において寄贈いただけることは大変ありがたく思います。（福島県・特別支援学校）

2. 今後の活動（平成 25 年度下期）

- リース終了パソコン（Windows7 モデル）を特別支援学校（被災 3 県以外の被災地）に寄贈する活動を重点的に行います。

（※1）当協会の社会貢献活動は、国内外の社会的課題に対して、リース及びリース事業を基盤とした社会貢献活動を行い、その活動を社会に等しく公表することにより、リース及びリース事業の適正な理解の促進を図ることを目的として実施しています。

（※2）この寄贈活動に際しては日本マイクロソフト株式会社のシチズンシップライセンスを活用させていただいています。

以上